

◆小学校のプール授業と夏休み期間を市営温水プールに委託

小学校管理運営費
プール授業等委託料

予算額 943万1000円

市内各小学校では、プール設備の老朽化が進み、維持管理費や安全・衛生的に使用するための改修経費が相当額になるため、水泳授業や夏休み期間も市営温水プールに委託されます。

天候に影響されず、温水なので体温低下が抑えられます。

夏休み期間の学校でのプール開放の監視に対して、保護者や教員の負担軽減にも繋がるとの説明がありました。

委員▼授業は仕方ないとしても、夏休みのプール開放は、自宅に近い小学校に行くのと違い、子供たちは行きにくくなるのではないかと。監視員を市で雇えば、安心できるのではないかと。

理事者▼児童20人に1人インストラクターがつくので、習熟度にあわせて集中的に指導できる。監視も、教諭だけより見守る目が増える。移動は、貸切バス等で送迎したい。

◆町の楽しさを創る

表彰関係費等 演奏者謝礼

予算額 117万円

市内で開催される式典やイベントや会議等に、勝山市出身の音楽家を招き、市民が音楽にふれあう場を創出するための事業費が、17万円計上されました。

コロナ禍で発表の機会や出演料などの収入が激減したことが予想される中で、音楽家への活動支援にも繋がり、市民にとっては質の高い演奏を聴く機会が増えることで、音楽を通じて市民文化の向上などにも繋がるかと期待されています。

議員からは、イベントや会議、式典時の演奏はもとより、恒常的に音楽に接することができる音楽堂やステージを望む声も上がりました。



3月19日の20歳のつどいで、音楽家による演奏が披露されました。この予算は、こういった活動に使われます。

●議会改革特別委員会

委員会では、次期18期から議員定数が16人から14人になることに伴い、それぞれの常任委員会等の定数について検討しました。

6月定例会では、それらの検討内容を踏まえた勝山市議会委員会条例の改正案を上げし、9月からスムーズに議会活動が進められるように準備を進めます。

●久保幸治議員に規律を正すことを求める決議案審査特別委員会

久保幸治議員に本会議や委員会での無断欠席や事前連絡のない遅刻が目立ったことから、本定例会において久保幸治議員に規律を正すことを求める決議案が提出されました。

これを受けて、議長と久保議員を除く議員14名で構成された本特別委員会を設置することとなり、決議案について審査をしました。

委員会では、「無断欠席は病気が原因だから倫理観とは関係ない」、「本人は反省し再発防止の努力もしているからここまでしなくてもいいのではないか」という意見のほか、

「その後の態度や行動を見ていると、もう少し真剣に受け止めてほしい」など多くの意見が出されました。採決の結果、賛成多数で可決されました。

●議論のポイント

委員会では、前段の委員会報告の内容の他、次のような意見が出ました。

- ・病気だと主張されるが、委員会では判断できない。仮に病気なら、健康のために生活環境の改善もあつて然るべき。
- ・誰しも忘れてしまつことはあるが、工夫して気をつけている。
- ・このような事態に対しては真摯に反省しているが、この決議案には賛成できない。
- ・謝罪と反省の言葉があつたが、その後も事前の連絡もなく遅刻した。
- ・事前連絡がないことを引き合いにするが、連絡すれば遅刻してもよいのか。
- ・議会の規則には、遅刻、欠席をする場合は事前に届け出ることと書かれている。ここでは、すでに起きたことに対して規律を正そうとしている。「反省とは別に考える必要がある」。